

日本未来学会主催 公開ワークショップのご案内

3月11日に発生した東日本大震災は、「日本の未来」に大きな影と問題提起を投げかけました。日本未来学会では、中長期的視点から、ポスト3.11の「見えない未来」を構想するためのワークショップ（第一弾）を開催します。

ポスト3.11の「見えない未来」を構想する！

～東日本大震災後の中長期的展望と共有プラットフォームの提案～

- ◆日時：2011年7月10日（日）（13:00～17:15）
- ◆会場：立教大学池袋キャンパス（14号館5階D501教室）
- ◆参加無料：（資料代実費1000円程度）

◆ワークショップ・プログラム（14号館5階D501教室）

1. 基調講演「3.11の文明史的意味」13:00-13:25

日本未来学会会長 公文俊平（多摩大学教授）

2. イントロ（和田雄志：未来学会常任理事）13:25-13:30

日本未来学会としての立ち位置

第I部：問題提起&提案（各発表15分程度）13:30-15:15 進行：鍋木

1) 被災地復興手法

（発表1）上田昌文（市民科学研究室）被災コミュニティの再生～大槌町から

（発表2）志賀厚雄（㈱アイランドエコロジー）ふたつの大島をつなぐ

2) 持続可能な地域コミュニティの再生・創出

（発表3）小野加瑞輝（NPO ミレニアムシティ）

3) 「人の復旧・復興」

（発表4）小野直哉（京都大学）持続可能なヒューマンケア

4) ネクスト・クライシス

（発表5）清水正信（IPCC）または和田一東海地震の影響予測

5) 社会的合意形成

（発表6）鍋木孝昭（HOSP!）よりよい社会的意思決定のための「中間団体」

休憩 15:15-15:45 （日本未来学会総会：D502教室、会員のみ参加）

第II部：全体討論 15:45-17:15 進行：和田

1) 「3.11」で見えてきたこと、まだ見えていないこと

2) 今後、何を、いかに、なすべきか（What、How、Who）

3) 総括～未来学会としての「ポスト3.11行動宣言」

★発表者および以下の指定討議者（discussant）

菊地眞（防衛医大副校長）、吉井博明（東京経済大学）、

高橋英興（コミュニティネットワーク協会）他予定

（注）発表テーマおよび発表者等は、変更される場合もあります。

《参加申し込み方法》

- 参加を希望される方は、氏名、所属、日本未来学会会員の場合はその旨明記の上、以下のメールアドレス宛先にご返送ください。
メールアドレス yj.wada@iftech.or.jp
- メール件名に「平成23年度日本未来学会ワークショップの件」とご記入ください。
- ワークショップの様子は、ハイライフ研究所の協力により収録され、インターネットに映像公開される予定です。

《日本未来学会一般会員の方へ》

- 休憩時間中の15：15－15：45に日本未来学会総会を開催いたしますので、ご参加ください。
- 平成23年度の年会費（一般会員 3000円）は、7月10日の会場で直接お支払いいただいても結構です。

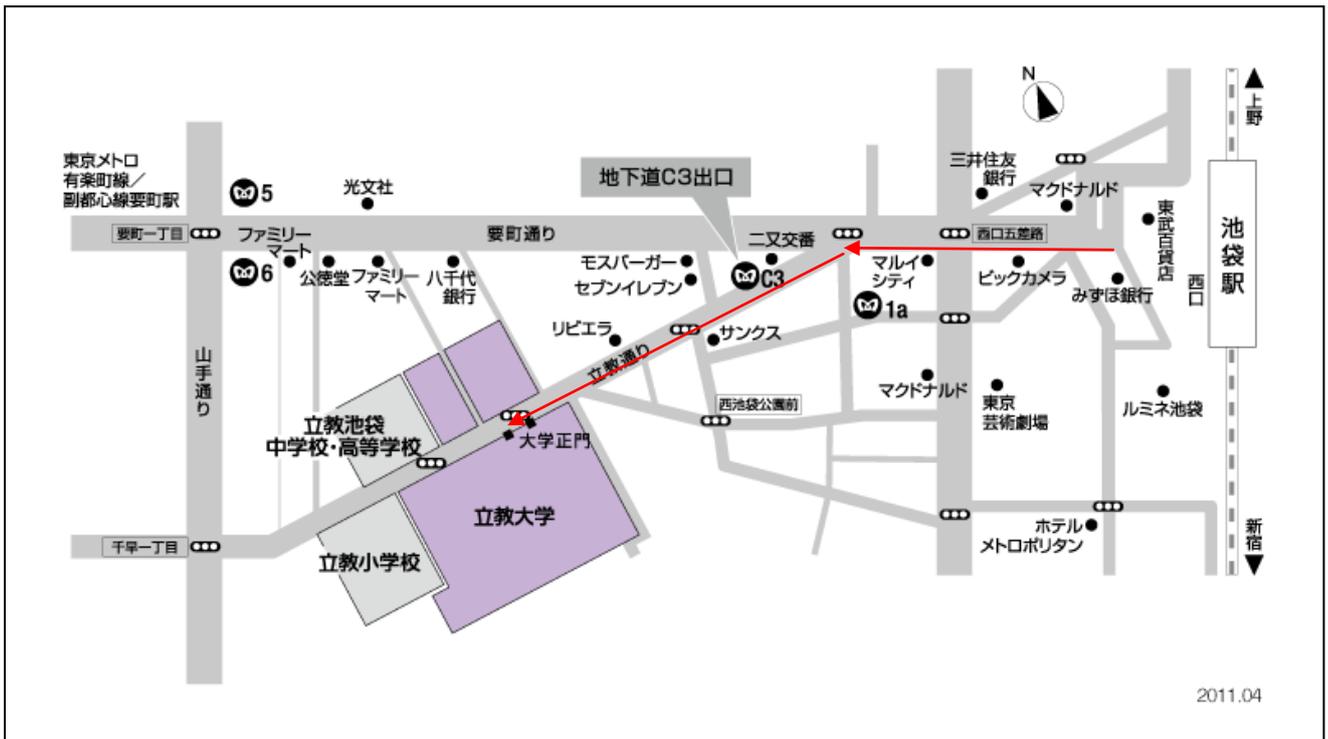
*****日本未来学会 事務局*****

財団法人 未来工学研究所

理事 和田雄志（わだゆうじ）

電話：03-5245-1011、携帯電話：090-1690-4173

◆立教大学池袋キャンパス：池袋駅西口（東武百貨店側）から徒歩10分



◆キャンパス内会場：14号館5階（D501教室）

